

平成 30 年 10 月 11 日 箕輪町交流センターにて

政策提言を行いました！

「ナチュラルみのわ つながる女子カフェ ワークショップ」という女性イベントから出た
たくさんの貴重なご意見を元に、地方創生・人口減少対策等特別委員会を中心に議会から町へ提言をしました。



パワーポイントで
説明します！

報道の方、町の係長、課長



一般の方もお1人

来ていただけました！

ありがとうございます

(*^_^*)



第2次産業について

2 第2次産業の概要と課題

当町の工業出荷額は、平成28年度1,583億円で上伊那では伊那市に次いで2番目。県内町村の中においても坂城町の1,887億円について2番目に位置している。現在の受注状況は、順調に推移しているものの「事業承継・なり手(人材)不足」が統一的な認識であった。



町内事業所307社の内、従業員1名の事業所が67社(21.8%)、2名から5名の事業所が88社(28.7%)で、全体の50.5%を占めている。

また、従業員1名の事業所の内、45社において明確な後継者がおらず事業承継が大きな課題である。

なり手(人材)不足問題について、特に当町の特色として自動化出来ない仕事が多く、専門的な技術者が不足しており、人材が確保できれば良いという問題ではない状況である。

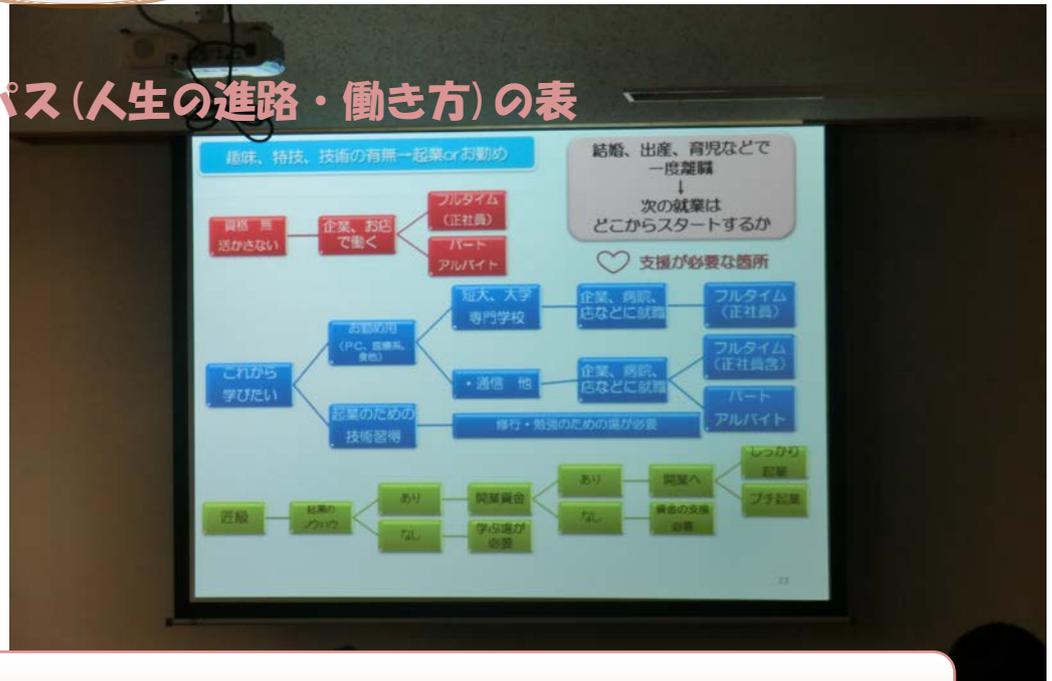


向山委員による説明

事業継承、なり手(人材)不足への支援を！

女性の活躍推進

女性のキャリアパス(人生の進路・働き方)の表



起業のためのクラウドファンディング型ふるさと納税の導入

こんなふうに活用してみてもいい？①

① 教え合いながらお話ししながら勉強したい！

**土・日・祝日
学生がお話ししながら勉強できる場所へ！**

★施設の開閉など、その場所に人が必要

- ・高校生の1日カフェ
- ・手作り販売 (アクセサリ他) など

➡ **お試し起業の場として**

★ジュース、パンなどの軽食用 自動販売機の設置

➡ カフェの方が不在でも飲食できるように

働くママへの柔軟な対応を

LINEを使った相談窓口設置

空き家活用

楽しいイベント、学びの場のために
匠を町へ呼んでほしい！

スポーツ振興

ハーフマラソン大会の開催

地方創生・人口減少対策等特別委員会の「スポーツ部会」では、交流人口を増加させるためにはどのようなスポーツイベントが適しているかを探るため、伊那谷をはじめ県内の市町村へ出向く等して調査した。

その結果、全国的な傾向と同様多くの市町村でランニングイベント(92大会)を開催しており、種目は、フルマラソン・ハーフマラソン・トレイルラン(登山)、駅伝、その他であった。
大会ごとの県内・県外別の参加人員は次表のとおりである。(伊那谷以外は全国マラソン大会ランキング100撰に入っている大会を調査)

浦野委員の説明



体育協会の創設

民泊等事業者の募集

唐澤千洋委員 担当

循環型林業への支援

トレイルランコースの設置

林業振興

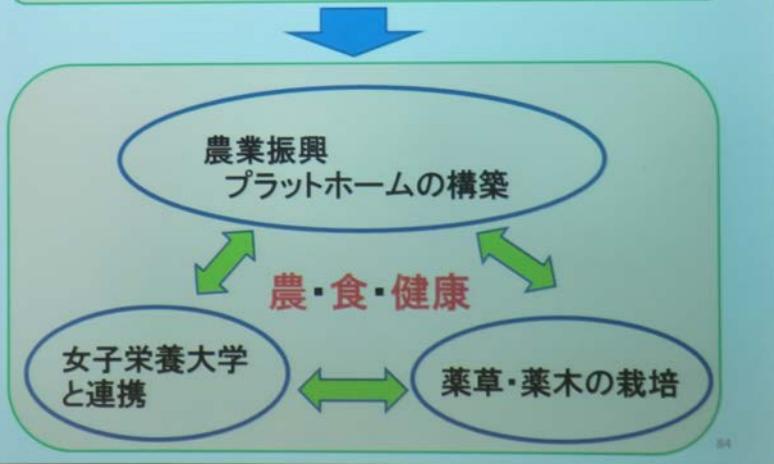
1 箕輪町林業の概要

- 1 箕輪町の林業は、町の西部と東部に位置し、町の総面積の内、山林・原野が29.13平方キロ(34%)を占めているが、近隣市町村に比べれば森林面積は大きくない。
- 2 RESASにおける林業の位置づけは、林業を取り巻く様々な要因から、林業従事者の減少と高齢化により林業総収入は少額であるとしている。
- 3 戦後の植林政策によって、森林が皆伐された当時パルプ製造会社の操業がみられたが、昭和後期廃業となった。
- 4 町内の森林は、多くがカラマツ、アカマツ、ヒノキ等で間伐期にきている。
- 5 個人林の保有面積は、零細で経済効果が少ないため放置されている。

農業振興

4 政策提言

農業振興拠点の整備 地産地消の推進
産学官の連携強化 耕作放棄地の減少 観光振興の促進



唐澤敏委員の説明

農業振興拠点としての

開かれたプラットフォームの構築

都農交流と産学官連携の推進

薬草・薬木栽培の促進

木村議長から白鳥町長へ早期に実施するよう要請しました

